令和6（2024）年度 大磯中学校区 グランドデザイン

大磯中学校区教育目標

・自分の目標や夢に向かって自ら努力する
・自分に自信をもち、他者を大切にする

【かながわ教育ビジョン】
（基本理念）未来を拓く・創る・生きる

【大磯町教育大綱】
（基本理念）
「子育て・教育で
　みんながわくわくするまち　おおいそ」
（基本目標）
「まなび・からだ・こころ」

大磯中学校教育目標

「自立」 自ら正しい行動をしようとする人
「健康」 いのちを大切にし、心温かな人

・他者を思いやり、他者を受入れるなど他者との関わりから自己有用感を高めることができる
・多面的・多角的に物事を考察することで、周囲にある課題に気付き、解決に向けて適切に判断することができる
・多様な価値観があることを認識し、認め合い、協働することができる
・変化が激しい社会に柔軟に応じ、新たな価値を創造するなど目標達成に向けて主体的に考え判断し、粘り強く取り組むことができる

大磯小学校教育目標

おだやかに　自ら学び　共に育つ

・自らにも他人にも、心穏やかで、やさしい子ども
・基礎・基本を身につけ、自ら進んで学習できる子ども
・共に助け合える子ども
・運動に親しみ、健康で健全な生活ができる子ども
・自らをみつめ、自らの成長を信じて、行動する子ども

連携・協働

コミュニティ・スクール
・地域総がかりで子供たちを育む仕組みをつくる。
・地域のなかの学校が体現できるように、実践や取組を見直していく。

異学年交流
・人と関わる機会を増やし、自己有用感や責任感を育み、思いやりの心の醸成を図る。

小中連携
・教職員の会議等を通じて小中学校の理解を深め、子どもの育てる姿を共有していく。

＜具体的連携＞
・小中合同研究
・相互授業参観
・出前授業
・相互乗り入れ授業
・交流活動

9年間を見通した教育

9年間を見通したカリキュラム
・指導方針や各発達段階で育てたい力等を共有し、9年間の系統性・連続性のある取組により、確かな学力の定着、向上をめざす。

9年間一貫した支援
・9年間を通して子供を見守り育てる支援体制により、問題行動の未然防止と早期対応を図る。また、支援を必要とする子供について全教職員の共通理解を図り、チームで支援する。

学習指導の充実
・小学校高学年での教科担当制や小中学校間での相互乗り入れ授業等、専門性を活かした魅力ある授業の創造、協働学習や少人数学習など効果的な学習形態の活用を図る。

小・中学校共通実践

ー学校支援体制の構築と効果的具体的な連携・協働ー

＜学習環境＞　・認め合い、安心して過ごせる場の整備
　　・自己有用感が醸成される人との関わりを大切にした環境
＜授業＞　・誰一人取り残さずに、学び合い高まり合う学習
　　・ICTの活用とモラル教育による、深い学びの推進
＜情報発信＞　・各種たより、メール配信システム、ホームページ等の有効活用

「大磯学」の実践

地元大磯についての系統学・連続的な学習
地域の材を活用し、各教科等を通して郷土への愛着を深め、主体的な行動する態度を育成する。

地域　学校運営協議会　家庭

大磯小学校 → 大磯中学校

小学校から中学校へのスムースなつながり

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
・望ましい生活リズムや学習習慣の定着 ・基礎基本の反復・定着		・学習内容や学び方の基礎基本のさらなる定着や徹底 ・協働的な学びを意図的計画的に実践		・小学校での学習内容の確実な理解と定着 ・興味関心や自己評価に基づく学習課題などの自己決定	
・幼稚園・保育園等との円滑な接続と相互交流（小1プロブレムへの対応）		・集団で関わり合う活動の充実		・協働的に課題を解決する力のさらなる育成	

1年生	2年生	3年生
小学校の学びを基盤にした基礎・基本のさらなる充実	思考・判断・表現を活用するなかで、主体的な学びにつなげる態度の育成	
中1ギャップへの対応 生徒の発達段階に応じた指導・支援	将来の進路指導を見据えたキャリア教育の推進	

学級担任制　／　教科担当の学齢に応じた拡充　／　教科担任（担当）制